

タニタと「プチ湯治」ツアー

具親光物産国際協会と四万温泉協会が健康計測機器メーカーのタニタ(東京)と連携して取り組む「ヘルスツアーズ」のモニターツアーが16日、中之条町の四万温泉で始まった。19日までの3泊4日の日程でタニタ監修のヘルシーメニューや運動プログラムのほか、温泉療法の指導による温泉入浴法を体験する。

県内外の男女38人が参加。健康プログラムを実施するコース(18人)と、実施しないコース(20人)に分かれ、健康データ測定やアンケートを通して効果を比較する。

ガイダンスで四万温泉協会の関良則会長は「この4日間で健康になるきっかけをつかんでほしい」とあいさつ。同協会とタニタの担当者からツアー中の過ごし方や活動量計の使い方などを説明した。



モニターツアーの担当者から説明を受ける参加者

健康プログラムコースに参加した伊勢崎市の大谷富男さん(70)は「普段から健康に気を付けている。具体的な数値で体の状態を確認でき、料理も楽しみ」と話していた。

ヘルスツアーズは「プチ湯治とヘルスケア 四万せんか」と題して7月から取り組んでおり、モデルの確立に向かっている。